R７．８.20 研修参加者記入アンケートのまとめ

A：本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

1. 音とイメージの関係・律動の理解
- 音だけを聞いて頭でイメージすることと、絵本を見ながら音を聞きイメージすることが、大きく異なることが印象的だった。
- 今まで律動がどういうものか知らなかったが、ピアノに合わせて身体を動かすことを保育に取り入れたいと思った。
- 単音だけでもイメージが広がることを知り、やってみたいと思った。
- 音を聞いて身体を動かす楽しさを感じることができた。

2. 子どもの発達と動きの理解
- 実際に律動を経験し、年齢別の動きを体で感じられたことが良かった。
- 子どもにとって動きが続けにくいもの、休憩になるものが分かった。
- 律動も絵本選びも「子どもの発達に応じて取り入れていくこと」の大切さに改めて気付かされた。

3. 共主体の保育と実践への意欲
- 共主体の保育と律動のお話が印象的だった。
- 劇遊びを進める中で共主体を意識することが大切だと感じた。
- 共主体の話を詳しく聞けて、悩みが少し解けたように思った。
- 実際に律動をして楽しかった気持ちを、保育を通して子どもたちと共有したい。
- 今日学んだことを、明日からの保育に取り入れていきたい。

A：本日の学びや気付きを生かし、今後どのように取り組もうと思われますか。

1. 律動を積極的に保育に取り入れたい
- これまで避けがちだった律動に向き合い、年齢に応じた内容で取り入れることで子どもの成長を促したい。
- 毎日の保育の中で律動の機会を作り、子どもたちが楽しく過ごせるように工夫していきたい。

2. 身体表現を工夫していきたい
- ピアノの音に合わせて身体を動かすことの大切さを意識し、ピアノの弾き方を工夫して子どもたちの動きを引き出したい。
- 劇遊びなどにも律動を取り入れ、楽しみながら身体を動かす活動を広げていきたい。

3. 劇遊びや日々の活動に律動の応用していきたい
- 楽しく身体を動かす活動を劇遊びなどにも取り入れ、子どもたちがより豊かな表現を楽しめるようにしたい。
- いろいろな要素を組み合わせて、保育の幅を広げていきたい。

4. 共主体の保育の実践していきたい
- 子どもの主体性に任せるだけでなく、保育者も一緒に楽しむ「共主体」の姿勢を大切にしたい。
- 自分の保育観を柔軟に組み合わせながら、取り組んでいきたい。